

## 単元名 (旧)私との対話(絵や彫刻など)

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 描画材料の特性や技法を生かし、主題に適した表現方法を工夫しながら、制作することができる。
- (2) 心の状態や性格の特徴などを見つめて主題を生み出し、顔の描写や画面の構図を工夫し、発想や構想を練ることができる。作者の心情や意図を感じ取り、自分の姿を通して表現された作品の造形的なよさや美しさを味わうことができる。
- (3) 自分の姿を見つめ、感じ取ったことや考えたことを主題にした作品に関心をもち、技法や材料の特性を生かした表現をしようとする。

## 標準的な展開例

12270107\_001

【準備等】教科書、ワークシート、描画用紙、鉛筆、ペン、鏡

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 自画像を鑑賞し、主題を考え、主題を練る。</p> <p>★作者は、自画像を通して何を表現しているのだろう。</p> <p>○教科書の参考作品を鑑賞し、作者の心情や意図を考え、意見を発表する。</p> <p>○自画像の制作過程を理解し、構想を練る。</p> <p>★今の私、本当の私の姿は何だろう。</p> <p>○自分の性格や特性などをワークシートに記入する。</p> <p>2 下絵を描く。</p> <p>★下絵を描こう。</p> <p>○ワークシートを基に自分の心情や顔の表情、構図を考えながら描く。</p> <p>3～6 描画材料の特性を生かし、描写する。</p> <p>★ペンで表現しよう。</p> <p>○鏡を見ながら、顔の形や明暗を観察し描写する。</p> <p>7 完成した作品を鑑賞する。</p> <p>★作者はどのような心情だろう。</p> <p>○作品を批評し合い、作品の表現と作者の心情との関係を考え、意見を発表する。</p>	<p>・顔の表情や構図、色彩や技法に着目させ、意見を発表させる。</p> <p>【評】作者の心情や意図を想像して意見を発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ペンを使用し、線の粗密で明暗を表現することを理解させる。</p> <p>・自分の楽しみや不安、行動や環境について着目させる。</p> <p>・全体から部分へ向かって描写させる。</p> <p>【評】ワークシートに自分の姿を表す言葉を記入する活動や、表情や構図を考えた下絵を描く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・自分の心情を表現することに心がけ、描写させる。</p> <p>【評】ペンの特性を生かして描写をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ペンの勢いや密度から、どのような心情を表現しているか考えさせる。</p> <p>【評】作品に作者の心情が、どのように表現されているか批評し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

本単元では、自画像を描くことを通して、自分の姿を見つめ、身体的な特徴だけでなく、心の状態、性格の特徴などを把握して主題を創造させたい。また、技法や材料の特性を生かしたり、表現方法を工夫したりして描写させたい。

言語活動としては、作者の心情と表現との関係を考え、意見を発表したりワークシートに記入したりすることで作品の制作に生かしたい。

主題への思いを大切にするため、一人一人の想像力・構成力・技能などを考慮しながらも、表面的な技法だけにとらわれすぎないように制作させたい。

本単元を、8時間で展開する場合、鉛筆の精密デッサンに透明水彩絵の具による淡彩画表現を用いる展開も考えられる。生徒の実態に合わせて各学校で単元を再構成するとよい。また、粘土や木材を使った彫刻単元として取り扱うこともできる。